

【2022年5月23日修正】

2022 年度
芝浦工業大学大学院
学生募集要項
理工学研究科 博士（後期）課程

一般入試選抜
社会人特別入試選抜
社会人早期修了コース入試選抜

秋期入学

芝浦工業大学大学院理工学研究科

【個人情報取り扱いについて】

申請書提出時に提供いただく「氏名、住所（連絡先）、その他の個人情報（以下、個人情報）」は、選考ならびに進学の決定通知・入学手続きの連絡を行うために使用いたします。

なお、申請した方の上記個人情報につきましては、入学後は入学時に提出される学生カードと併せて学修指導、緊急連絡の他、学生生活の支援に必要なが生じた場合に使用します。

【個人情報の管理・保管について】

本学は、申請者の方々から提供を受けた個人情報を学校法人芝浦工業大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管をし、申請者の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

【問い合わせ：書類送付先】

〒135-8548

東京都江東区豊洲 3-7-5

芝浦工業大学 大学院課

TEL：03-5859-7420

E-mail：daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

※メールをお送りになる際は、タイトルに【博士・秋入試】とご入力ください。

目次

I . 理工学研究科博士(後期)課程の案内

II . 2022年度秋期入学博士(後期)課程募集要項

(一般入試選抜・社会人特別入試選抜)

III . 2022年度秋期入学博士(後期)課程募集要項

(社会人早期修了コース入試選抜)

IV . 出願資格の認定について

正誤表

募集要項内の表記に以下の間違いがありました。お詫びして以下のように訂正いたします。

芝浦工業大学 大学院課 2022年5月

訂正箇所

提出書類

誤 P.11

5	推薦状 <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; width: fit-content;"> <p><芝浦工業大学正 課在學生以外提出 ></p> </div>	-	○	TAOへ 直接入力	<p>★TAOの「推薦状依頼」フォームより手続きしてください。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦者のメールアドレスを入力し、推薦状の作成依頼を送信すること。 ・出身大学院研究科(または学部)の指導教員または、官公庁、企業、団体等の直接の指導者が作成すること。 ・ただし、社会人特別選抜入試の志願者の場合で、在職のまま修学を希望する場合は、現職の所属長が作成すること。
---	--	---	---	--------------	--

正 P.12

5	推薦状 <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; width: fit-content;"> <p><全員提出></p> </div>	○	○	TAOへ 直接入力	<p>★TAOの「推薦状依頼」フォームより手続きしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦者のメールアドレスを入力し、推薦状の作成依頼を送信すること。 ・出身大学院研究科(または学部)の指導教員または、官公庁、企業、団体等の直接の指導者が作成すること。 ・ただし、社会人特別選抜入試の志願者の場合で、在職のまま修学を希望する場合は、現職の所属長が作成すること。
---	---	---	---	--------------	--

I . 理工学研究科博士(後期)課程の案内

1. 博士(後期)課程設置の趣旨

芝浦工業大学は、1927(昭和2)年に東京の大森に設置された東京高等工商学校に始まり、まもなく現在の芝浦キャンパスの地に移転、1949(昭和24)年の学制改革で芝浦工業大学となった。現在、工学部9学科、システム理工学部5学科、デザイン工学部1学科、建築学部1学科で学部教育を行っている。

大学院理工学研究科(修士課程)は1963(昭和38)年に開設し、現在は電気電子情報工学、材料工学、応用化学、機械工学、システム理工学、国際理工学、社会基盤学、建築学の8専攻で教育・研究を行っている。

21世紀の高度科学技術時代に対応するためには、電気電子情報、材料、応用化学、機械、建設といった従来の基礎学問体系のみに依存する教育・研究では不十分であり、専門領域の枠を外し、ソフト、ハード両面にわたり、対象を総合的、学際的に取り扱うことのできる幅広い視野と柔軟な思考力をそなえた人材の養成が強く望まれている。このような人材を養成するためには、大学の学部や大学院修士課程の教育に加えて、高度の能力と豊かな学識を有する専門技術者および研究者の養成を目的とした大学院博士課程での教育が重要であると考えられる。

芝浦工業大学の卒業生は、大企業ばかりでなく、いわゆる中小企業にも積極的に飛び込んで、日本の高度経済成長を底辺から支えてきた。それらの企業における技術の高度化にともない、本学における技術教育に対する社会の期待は大きく、一方で、大学もしくは大学院における教育を終え、社会の第一線で活躍している技術者に対する再教育もまた重要な課題である。

芝浦工業大学は、このような観点から、1995(平成7)年、大学院理工学研究科(当時)に、区分制博士課程の後期課程を設置し、修士課程における教育を基盤に、学際性に対する対応を十分に配慮しながら、それぞれの専門分野を一層深化することのできる体制を整えた。さらに、1998(平成10)年4月からは、教育・研究の一層の充実と発展を期し、専門分野と教員組織の飛躍的拡充を行った。

2. 人材の育成及び教育研究上の目的

大学院博士(後期)課程では、研究者ポテンシャルの向上を目指して、大学院修士課程の修了者あるいは社会の第一線で活躍している技術者を対象に、豊かな学識を有する専門技術者及び研究者として育成することを目的とする。学際的観点から自己の専門分野を深めることにより、ソフト・ハード両面にわたって総合的な見地に立ち、システム全体の調和を図ること、及び持続型社会の構築に貢献できる能力の獲得を目指す。

さらに、産業界で活躍できる博士号取得者となることのできるように、複眼的工学能力、技術経営能力、メタナショナル能力を併せ持つシグマ型統合能力人材の育成を行う。

上記の人材養成を核とする大学院博士(後期)課程における教育研究は、大学の使命である研究推進を担う中核としての役割も担う。

以上の人材養成を基礎とし、各専攻の人材開発目標を以下のように設定する。

【地域環境システム専攻】

都市のような限定された地域においては、人間の社会的、文化的活動が、そこでの生活環境に好ましくない影響を及ぼすことが少なくない。地域の持続的発展には、地域活動の活性化と、生活環境の保全との調和が不可欠である。

また、その実現には、電気電子・材料・化学・機械・建設工学など、幅広い分野にわたる課題に取り組む必要がある。

地域環境システム専攻は、自らの専門分野の研究を深めると同時に、技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を洞察し、異なる専門分野の研究者が互いの情報を交換することを通じて、地域環境におけるより良い社会・文化・生活の基盤形成に寄与し、持続可能な社会を実現することを目的とする。その教育目標は、地域環境に関する幅広い視野を持ち、高い専門性を活かして、この目的を達成できる人材の育成にある。

【機能制御システム専攻】

20 世紀の日本は、効率性及び利便性を重視し、利益向上を求めてモノづくりに励んできた。結果として環境破壊などの矛盾が生じた。現在、これらの矛盾を解消しつつ、自動車、ロボット、エレクトロニクス、情報通信などの分野で、日本は世界をリードする技術を有している。そして、それらの技術は益々複雑化している。今後のグローバル社会において、科学技術のリーダとして世界に貢献するには、対象を深く解析し理解する能力に加えて、複雑化する技術の全体像を掌握し、システム全体の調和を図ることの出来る高い設計能力と技術経営能力が必須となる。

例えば、東日本大震災直後に起きた原発事故では、社会における技術のマネジメント、実装と運用まで含めた社会における技術の利用に関するシステム化技術の重要性が再認識されるなど、再度実学教育を考え直す時期に来ています。また 2015 年に持続発展のための 17 の目標達成 (SDGs) が国連全加盟国によって採択された。これはグローバルな価値観を持ち、国際的に活躍できる研究者・技術者の育成が求められていることも意味しています。

機能制御システム専攻では以上の背景の下に、グローバルな価値観を持ち、科学の真理を把握した上で、世界の研究者・技術者と協働して持続型社会実現のための世界の諸問題を解決できる優秀な研究者・技術者を養成するための教育研究を行うことを目的とする。本専攻は、通信機能制御、機能デバイス制御、システム制御、生命機能制御など、多くの教育研究分野を有し、学際的な教育研究を展開する。それにより、指導者の分野のみの教育研究に特化することなく、専攻全体が多様性をベースとした関連性を意識し積極的に連携しつつ、技術マネジメント基礎力や技術英語力、共通した価値観・倫理観などを兼ね備えた研究者・技術者の養成を目指す。

3. 理工学研究科概要

博士（後期）課程は「地域環境システム専攻」及び「機能制御システム専攻」の2専攻を置き、総合的かつ学際的な視野に立って専門分野の深化をはかる研究と教育を行う。

4. 学位について

博士（後期）課程の修了者には、博士（工学）または、博士（学術）の学位を授与する。

Ⅱ. 2022 年度秋期入学博士（後期）課程 募集要項

（一般入試選抜・社会人特別入試選抜）

アドミッションポリシー

大学院理工学研究科博士（後期）課程では、大学での研究推進と世界の研究者・技術者と協働して持続型社会の実現のための世界の諸問題を解決できる研究者の育成を目指して、国際的な幅広い見識および柔軟な思考能力を備えた高度な専門性を有する研究者や高度専門職業人を養成することを目的としています。

そこで、つぎのような入学者を求めます。

- （1）本学での学修、研究を強く希望し、本学で自己成長、自己実現を成そうと希望する人
- （2）大学院修士課程の修了者あるいは社会の第一線で活躍しており、高度な研究推進能力ある人
- （3）創造的に新しい分野を積極的に開拓できる人
- （4）工学倫理を遵守できる人
- （5）外国語を含むコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力及びマネジメント能力のある人

1. 専攻名および募集定員

研究科名・課程名	専攻名	募集定員
理工学研究科 博士（後期）課程	地域環境システム専攻	12名
	機能制御システム専攻	15名

※募集定員は各試験単位ではなく 2022 年度全体の定員です。

2. 受験区分

次のいずれかの区分で受験することができます。

（1）一般選抜

「3. 出願資格」に該当する者。

（2）社会人特別入試選抜

「3. 出願資格」に該当し、かつ、研究機関、教育機関、企業等に勤務している者で、所属長または職場において本人を熟知している指導的立場にある者の受験承諾を得た者。

※原則、在職しながら修学することとなります。

3. 出願資格

- （1）修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2022 年 9 月末日までに修士の学位または専門職学位を授与される見込みの者
- （2）外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2022 年 9 月末日までに授与される見込みの者
- （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2022 年 9 月末日までに修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者
- （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専

門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月末日までに授与される見込みの者

- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月末日までに授与される見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有すると同等の学力があると認めた者（注1）
- (7) 文部科学大臣が指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (8) その他、本学大学院理工学研究科委員会において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年9月末日までに24歳に達する者（注2）

注1）出願資格（6）（7）に該当するものとは、「大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」及び「外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」をいう。

注2）出願資格（8）に該当する「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」の範囲は、次の①または②の要件を満たす者とする。

- ① 大学を卒業した者で、大学卒業後、3年以上専門に関連した実務経験に就き、かつ2年以上研究・開発等の業務に従事した者であること。
- ② 上記以外の者については、3年以上専門に関連した実務経験に就き、かつ2年以上研究・開発等の業務に従事した者であり、**著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等の業績において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があること（要相談）。**

※ 出願資格（6）（7）および（8）の認定については、後掲「出願資格の認定について」をご参照ください。

※ 各専攻とも出願前に必ず希望する指導教員に予備的な指導を受けてください。

4. 出願の手順

- 1) 自分が指導を受けたい教員に連絡を取り、面談を行う。受験の希望や研究内容について話し合い、入学後の研究室受入の内諾を得る。
- 2) 募集要項をダウンロードし、熟読する。
- 3) 必要な書類を準備し、募集要項の指示の通りにデータ化する。
- 4) オンライン出願システム受付期間内に必要事項を入力または提出書類のアップロードを行う。
- 5) オンライン出願システム受付期間内に、指導を受けたい教員へ受入内諾書の作成依頼を行う。
- 6) オンライン出願システム受付期間内に、推薦者へ推薦状の作成依頼を行う。
※5)、6)は日時に余裕を持って行うこと。
- 7) オンライン出願システム受付期間内に入学検定料を支払い、不備がないかをよく確認したあと、出願を確定させる。

<諸注意>

志願者は、出願の前に**まず自分が指導を受けたい教員に連絡を取って面談を行い、合格・入学後の研究室受け入れの内諾を得ることが必須となります。**指導を受けたい教員の連絡先が分からない場合は、下記の資料を添付し、担当部署までメールにて取り次ぎの依頼をしてください。

（そのまま教員へ転送できるように文面を作成してください）

- 1. 当該の教員からの指導を希望する理由（メール文面への記載でも可）

2. 経歴書（学歴やこれまでの研究概要など / 様式自由）
3. 研究計画書（様式自由）
4. 成績証明書（スキャンデータ）
5. 修了（見込）証明書（スキャンデータ）

教員とのやりとりには時間を要するため、新規の取り次ぎ依頼は【5月24日（火）12:00】を〆切といたします。これ以降に寄せられた取り次ぎ依頼については、対応いたしかねますのでご承知おきください。

※教員からの受入内諾がない状態での出願は受理できません。

※教員の都合によっては、この期日前に連絡したとしても面談の設定ができず、受入許諾が得られない場合があります。

取次依頼連絡先：

芝浦工業大学 大学院課 <daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp>

5. 出願書類一覧

出願書類は下記一覧の通りです。

申請にあたっては、オンライン出願システム「[The Admissions Office \(TAO\)](#)」により行います。使用方法などの詳細は、募集要項掲載ページにアップロードされている【[「The Admissions Office \(TAO\)」使用マニュアル](#)】を参照してください。

■オンライン出願システム受付期間<全専攻共通>

2022年5月2日(月)12:00 ~ 2022年5月31日(火)16:00 (厳守)

※期間外の出願は一切受け付けられません。

※マニュアルをよく読み、上記期間内に全ての入力を済ませ、出願を完了させてください。出願完了前に上記受付期間が終了した場合、手続きの途中であっても、出願は受理されません。（システム上で出願の完了処理ができなくなります）

※全ての情報が入力されていても、出願完了のボタンが押されていない場合、出願は不受理となりますのでご注意ください。

6. 入学者選考方法

(1) 選考方法

- ① 一般選抜の受験者に対しては、提出された修士論文の写し及び、その要旨と博士（後期）課程における研究計画書に基づいて、プレゼンテーション（15分程度）および口答試問（15分程度）を行います。
- ② 外国人留学生についても、一般選抜の受験者と同様とします。
- ③ 社会人特別選抜の受験者については、提出された研究業績調書、研究計画書などを中心に関連する専門分野についてプレゼンテーション（15分程度）および口答試問（15分程度）を行います。

(2) 入学試験の日時及び試験会場・合格発表等

入学試験日	試験会場・時間	合格発表	入学日
2022年7月2日(土)	The Admissions Office (TAO)で通知	2022年7月14日(木)	2022年10月1日

※合格発表は、オンライン出願システム（13:00）にて行います。

※掲示板では受験番号での通知となります。

※合格者の方へは、同日郵便にて合格通知書を送付致します。

※電話等による可否の問合せには応じられませんのでご了承ください。

7. 学費等

費目	1年次			2・3年次		
	入学時	春期	計	秋期	春期	計
入学金	(260,000)		(260,000)			
授業料	328,900	328,900	657,800	328,900	328,900	657,800
維持料	92,000	92,000	184,000	92,000	92,000	184,000
計	420,900 (680,900)	420,900	841,800 (1,101,800)	420,900	420,900	841,800

※上記、「入学時」に記載されている金額を、入学に先立って入学手続き金としてお振り込みいただきます。

※本学卒業生の入学金は免除されます。()内は本学卒業生以外に適用されます。

8. 学費等納入

- (1) 納入額 本学卒業生 420,900円 本学卒業生以外 680,900円
- (2) 納入手続き期日 2022年8月31日(水) ※納入期限が過ぎた場合は入学辞退として扱います。
- (3) 納入先 みずほ銀行 浜松町支店 普通 3271331
学) 芝浦工業大学 大学院入学金口 (ガク シバウラコウギョウダイガク ダイガクイン ニュウガクキングチ)

※振込の際の注意事項

- ①振込依頼人名は、**志願者本人**の氏名でお願いします。
- ②ATM から納入される場合、**依頼人名は「受験番号」「志願者カナ氏名」の順に入力してください。**
(例：006001 シバウラタロウ) 異なる依頼人名でお振り込みいただいた場合、ご本人確認が取れないことがあります。
- ③窓口から振り込む場合は、TAO からお送りする入学手続き金納入先口座情報を手元に準備し、銀行指定の振込依頼書に転記の上、振り込んでください。
- ④**振込手数料は、本人負担となります。**

9. 入学辞退

一度納入された入学料及び授業料等は返還いたしません。ただし、2022年9月末日までに入学辞退届を提出した者については、願い出により入学金を除いた納入金を返還します。本学指定の入学辞退届がございますので、該当する方は本学大学院課へご連絡ください。

10. 注意事項

- (1) 出願後の指導教員変更、所属の専攻を変更することはできません。
- (2) 試験当日、交通機関等に支障をきたすような事態が生じても、受験できるようご注意ください。
- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更・返還ならびに一度納入された検定料の返金には応じられません。

11. 大学院理工学研究科で申請できる奨学金

①芝浦工業大学大学院博士（後期）課程給付奨学金（給付）

詳細は芝浦工業大学大学院博士（後期）課程給付奨学生募集要項をご参照ください。

②芝浦工業大学大学院留学生給付奨学金（給付）

詳細は芝浦工業大学大学院留学生給付奨学生募集要項をご参照ください。

③日本学生支援機構奨学金（第一種）（貸与、無利子）/日本学生支援機構奨学金（第二種）（貸与、有利子） （留学生対象外）

【学内募集時期（入学時定期採用※秋）】2022年9月下旬～10月頃（詳細が決定しましたら別途お知らせ予定です。）

【採用時期（予定）】2022年12月

奨学金概要や申請条件はJASSOのHPを参照してください→ [大学院に在学中の方 | JASSO](#)

10. 出願手続き

提出書類

提出書類	芝浦工業大学正規在学生	芝浦工業大学正規在学生以外	形式	提出方法および要件
1 入学願書 <全員提出>	○	○	TAOへ直接入力	★TAOの所定フォーム「入学願書」へ直接入力してください。 ・学歴や職歴等、「入学願書」に設けられた欄に記載しきれない場合は、別途自由様式にまとめてPDF化したものを、TAOの所定フォーム「提出書類」の「その他書類」に提出すること。
2 顔写真 <全員提出>	○	○	JPG	★TAOの所定フォーム「入学願書」の該当箇所へアップロードしてください。 ・縦4cm×横3cm、出願3ヶ月以内に撮影したカラー写真 (上半身・正面・無帽・枠なし) ・合格者が入学する際の学生証写真としても使用する
3 成績証明書 <芝浦工業大学正課在学生以外提出>	-	○	PDF (スキャンデータ)	★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。 最終出身(見込み)学校長名で発行されたもの。(日本語/英語) ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。 この場合、3成績証明書の提出フォームに1部アップロードすれば良く、4は空欄でかまわない。
4 修了(見込)証明書 <芝浦工業大学正課在学生以外提出>	-	○	PDF (スキャンデータ)	日本の大学において修士の学位または専門職学位を取得(見込み)の者 現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。 ★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 最終出身(見込み)学校長名で発行されたもの。(日本語/英語) ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。 この場合、3成績証明書の提出フォームに1部アップロードすれば良く、4は空欄でかまわない。 上記以外の者 ★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 外国において修士の学位または専門職学位を取得した者は、それを証明する書類をご提出ください。 ※出願資格を満たしているかの確認を行いますので、出願資格審査受付日5月6日(金)以前に一度ご相談ください。
5 推薦状 <全員提出>	○	○	TAOへ直接入力	★TAOの「推薦状依頼」フォームより手続きしてください。 ・推薦者のメールアドレスを入力し、推薦状の作成依頼を送信すること。 ・出身大学院研究科(または学部)の指導教員または、官公庁、企業、団体等の直接の指導者が作成すること。 ・ただし、社会人特別選抜入試の志願者の場合で、在職のまま修学を希望する場合は、現職の所属長が作成すること。
6 受入内諾書 <全員提出>	○	○	TAOへ直接入力	★TAOの「推薦状依頼」フォームより手続きしてください。 ・自身が指導を希望している芝浦工業大学大学院の教員を選択し、受入内諾書の作成依頼を送信すること。 ・オンライン出願システム受付期間に作成が終了するよう、日数に余裕を持って依頼すること。
7 修士学位論文の概要 <全員提出>	○	○	PDF (スキャンデータ)	修士の学位または専門職学位を取得(見込み)の者 ★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 修士学位論文の概要を提出。 概要の様式は自由だが、A4・2ページ以内にまとめること。 ※修了見込者については、上記の代わりに現在の研究内容の概要を提出すること。 研究内容の概要についても、様式は任意。ただしA4・2ページ以内でまとめること。 上記以外の者 ★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 専門に関連した自身の取り組みについて記載した小論文を提出すること。 様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。
8 研究計画書 <全員提出>	○	○	PDF (スキャンデータ)	★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。
9 研究業績調書 <全員提出>	○	○	PDF (スキャンデータ)	★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 所定様式を使用。
10 入学検定料 (35,000円) ※本学卒業生のうち社会人特別入試出願者は15,000円	○	○	-	・決済手段はクレジットカード決済またはコンビニエンスストア決済の2種から選択すること。 ・学内の証明書発行機(バビルスメイト)による納入は不可とする。 ・システムへの反映に時間を要することがあるため、出願日の12:00までに納入を済ませること。 ※本学卒業生のうち社会人特別入試出願者は15,000円になるため、TAOでの支払いは行わず事前に大学院課に連絡すること。 ※申請料納入にかかる手数料は、納入者のご負担をお願いします。
11 TOEIC®等の外部英語テストのスコア <芝浦工業大学正課在学生以外提出>	△ (S*gsot Portfolioへの登録のみ)	○	PDF (スキャンデータ)	★公式スコアレポートのスキャンデータを「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 ・現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。 ・TOEIC® L&R、TOEIC® S&W、TOEFL® iBT、IELTS Academic、GTEC(社会人・大学生向け/4技能)のいずれかのスコアを提出すること。 ・公式に発行されるスコアレポートのスキャンデータを提出すること。 (PO画面のスクリーンショット等は不可) ・IPアドレスのスコアを使用することはできない。(芝浦工業大学で受験したもののみ受付可) ・外部で受けたスコアは過去5年以内に限る。 <芝浦工業大学正規在学生在校者のみ> ※芝浦工業大学正規在学生在校者については、S*gsot Portfolioに登録されたTOEICスコアの最高点を抽出して使用するため、TAOを利用したスコアの提出は不要です。S*gsot Portfolioに自身のTOEICスコアが登録されていることを、オンライン出願システム受付期間が終了するまでに必ず確認してください。スコアの登録が1件もない場合、出願を受理することができません。
12 パスポート及び在留カード <日本国籍以外の者のみ>	△ (日本国籍以外の者のみ)	△ (日本国籍以外の者のみ)	PDF (スキャンデータ)	★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 <パスポート>顔写真が印刷されたページのスキャンデータを提出すること。 <在留カード>両面のスキャンデータを提出すること。
13 ⑩確認事項チェック表 <全員提出>	○	○	TAOへ直接入力	★TAOの所定フォーム「確認事項チェック表」へ直接入力してください。 ・当該フォームに表示される確認事項を読み、同意のチェックマークをつけて提出すること。

Ⅲ. 2022 年度秋期入学博士（後期）課程 募集要項

（社会人早期修了コース入試選抜）

本大学院は、一定の研究業績をもつ社会人を対象とした「早期修了コース」を、産官学連携による技術開発・研究の高度化を念頭におき、優れた研究能力を有する研究者・技術者の輩出を促進する目的で導入し、社会人早期修了コース入試選抜を実施いたします。

1. 研究科専攻および募集人数

研究科名・課程名	専攻名	募集人員
理工学研究科 博士（後期）課程	地域環境システム専攻	若干名
	機能制御システム専攻	若干名

2. 出願資格

一般選抜の出願要件を満たし、かつ下記の要件をすべて満たす一定の研究業績を有する社会人とする。

- （1）修士課程修了者で、3年以上の業務経験を有する者
- （2）論文（査読付き）を2編以上有する者。

3. 修業年限

修業年限は1年間とする。

ただし、1年で修了できなかった場合は、引き続き在学し、修業年限は3年間とする。

3年未満での修了も可能とする。

4. 早期修了に必要な条件

下記の条件を全て満たすこと。

- ・学位論文の内容に関わる第1著者または第2著者の査読付き論文3編（掲載許可を含む）以上を有すること。ただし、最低1編の第1著書の論文を含むこと。
- ・在学中に発表者として国際会議論文1編（査読無し可）以上を有すること。
- ・予備審査と最終審査に合格すること。

5. 入学者選考方法、合格発表、学費、入学辞退、注意事項等

「2022 年度秋期入学博士（後期）課程 募集要項（一般入試選抜・社会人特別入試選抜）」の同項目を参照してください。

6. 出願手続き

提出書類

提出書類	形式	提出方法および要件
1 入学願書 <全員提出>	TA0へ直接入力	★TA0の所定フォーム「入学願書」へ直接入力してください。 ・学歴や職歴等、「入学願書」に設けられた欄に記載しきれない場合は、別途自由様式にまとめてPDF化したものを、TA0の所定フォーム「提出書類」の「その他書類」に提出すること。
2 顔写真 <全員提出>	JPG	★TA0の所定フォーム「入学願書」の該当箇所へアップロードしてください。 ・縦4cm×横3cm、出願3ヶ月以内に撮影したカラー写真 (上半身・正面・無帽・袴なし) ・合格者が入学する際の学生証写真としても使用する
3 成績証明書 <全員提出>	PDF (スキャンデータ)	★TA0の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。(日本語/英語) ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。 この場合、3成績証明書の提出フォームに1部アップロードすれば良く、4は空欄でかまわない。
4 修了(見込)証明書 <全員提出>	PDF (スキャンデータ)	日本の大学において修士の学位または専門職学位を取得(見込み)の者 ★TA0の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。(日本語/英語) ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。 この場合、3成績証明書の提出フォームに1部アップロードすれば良く、4は空欄でかまわない。 上記以外の者 ★TA0の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 外国において修士の学位または専門職学位を取得した者は、それを証明する書類をご提出ください。 ※出願資格を満たしているかの確認を行いますので、出願資格審査受付日5月6日(金)以前に一度ご相談ください。
5 推薦状 <全員提出>	TA0へ 直接入力	★TA0の「推薦状依頼」フォームより手続きしてください。 ・推薦者のメールアドレスを入力し、推薦状の作成依頼を送信すること。 ・出身大学院研究科(または学部)の指導教員または、官公庁、企業、団体等の直接の指導者が作成すること。 ・ただし、社会人特別選抜入試の志願者の場合で、在職のまま修学を希望する場合は、現職の所属長が作成すること。
6 受入内諾書 <全員提出>	TA0へ 直接入力	★TA0の「推薦状依頼」フォームより手続きしてください。 ・自身が指導を希望している芝浦工業大学大学院の教員を選択し、受入内諾書の作成依頼を送信すること。 ・オンライン出願システム受付期間に作成が終了するよう、日数に余裕を持って依頼すること。
7 修士学位論文概要 <全員提出>	PDF (スキャンデータ)	★TA0の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 修士学位論文の概要を提出。 概要の様式は自由だが、A4・2ページ以内にまとめること。
8 研究計画書 <全員提出>	PDF (スキャンデータ)	★TA0の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。
9 研究業績調書 <全員提出>	PDF (スキャンデータ)	★TA0の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 所定様式を使用。
業績要約書 および業績を裏付ける 資料 <全員提出>	PDF (スキャンデータ)	★TA0の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 所定様式を使用。 ・社会人早期修了コースの出願資格(2)(査読付き論文2編以上)に該当する業績の要約を記入し提出。 ・また、その業績を裏付ける資料を提出すること。特許は特許公報の写しをアップロード。 ・出版物はタイトルと著者がわかる部分をスキャン。
11 小論文 <全員提出>	PDF (スキャンデータ)	★TA0の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。 専門に関連した自身の取り組みについて記載した小論文を提出すること。
12 入学検定料 <全員> (35,000円)	-	・決済手段はクレジットカード決済またはコンビニエンスストア決済の2種から選択すること。 ・学内の証明書発行機(バピルスメイト)による納入は不可とする。 ・システムへの反映に時間を要することがあるため、出願日の12:00までに納入を済ませること。 ※申請料納入にかかる手数料は、納入者のご負担をお願いします。
13 TOEIC®等の外部英語 テストのスコア <全員提出>	PDF (スキャンデータ)	★公式スコアレポートのスキャンデータを「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 ・TOEIC® L&R、TOEIC® S&W、TOEFL® iBT、IELTS Academic、GTEC(社会人・大学生向け/4技能)のいずれかのスコアを提出すること。 ・公式に発行されるスコアレポートのスキャンデータを提出すること。 (PC画面のスクリーンショット等は不可) ・IPテストのスコアを使用することはできない。(芝浦工業大学で受験したもののみ受付可) ・外部で受けたスコアは過去5年以内に限る。
14 パスポート及び 在留カード <日本国籍以外の者のみ>	PDF (スキャンデータ)	★TA0の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 <パスポート> ・顔写真が印刷されたページのスキャンデータを提出すること。 <在留カード> ・両面のスキャンデータを提出すること。
15 ⑫確認事項チェック表 <全員提出>	TA0へ 直接入力	★TA0の所定フォーム「確認事項チェック表」へ直接入力してください。 ・当該フォームに表示される確認事項を読み、同意のチェックマークをつけて提出すること。

IV. 出願資格の認定について

出願資格（6）または（7）に該当する出願者については、次の要領で出願資格の事前審査を行います。
（その他の出願資格で出願する場合は、審査不要です）

【提出書類】

- ① 出願資格審査申請書（所定様式）
- ② 業績要約書（自由様式。ただし A4 サイズ縦にて作成のこと）
- ③ 上記業績を裏づける資料、論文等（コピー可）
- ④ 個人調書（所定様式）
- ⑤ 小論文（自由様式。ただし専門分野に関する自身の取り組みについて記載すること。）
- ⑥ 最終学歴の成績証明書
- ⑦ 最終学歴の卒業証明書

出願期間	提出方法	提出先
5月6日（金）まで	メール	daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

※題名に 2022 年博士（後期）課程秋期入学選抜と記載してください。書類は全て PDF にして ZIP ファイルにまとめてください。

※③の資料でメール添付出来ないものは後日郵送すること。

本審査は、提出書類および面接（オンライン）等によって実施します。

出願資格審査日	試験方法・時間	審査結果の発表
5月20日（金）	後日メールで通知	6月9日（木）

※ 出願資格に係る審査料は不要です。ただし本試験においては本学所定の検定料がかかります。

※ 審査結果の発表と同時に受験許可書を送付します。